『ふるさとカップ』開幕

浅井、稲垣選手、地元の諸橋選手
レースごと歓声と罵声の渦
地元期待の諸橋選手 きょうの伊夜日子賞に

29日に開幕した「ふるさとカップ」

3着に入った諸橋選手

インタビューに答える12レース1着の渡邉選手

特設ステージで開かれた伊藤克信さん、山口健治さんらによる予想会

開設六十七周年記念弥彦競輪「ふるさとカップ」（GⅢ）が二十九日、弥彦競輪場で開幕。初日は入場者数、車券売上高ともに昨年を下回ったが、蒸し暑い天候のなか、弥彦競輪場を訪れた競輪ファンは、昨年優勝の浅井康太選手（三重）や、稲垣裕之選手（京都）らトップレーサーと、地元の諸橋愛選手らのレースに歓声を上げ、ガールズ競輪選手のトークショーなどの場内イベントで盛り上がった。

記念競輪は各競輪場のわれるレース。弥彦競輪開設記念として年一回行のタイトルで開催している「ふるさとカップ」では「ふるさとカップ」る。

レースは八月一日まで四日間の開催で、競輪界の頂点S級S班の浅井、稲垣両選手をはじめとする全国のトップレーサーが出場。地元新潟から諸橋選手と鈴木庸之選手、川村昭弘選手、藤原憲征選手の四人が出場している。

場内イベントでは、女性アイドルグループAKB48、NGT48の柏木由紀さんを「ふるさとカップ」イメージキャラクターに任命。最終日の一日に、柏木さんが来場するほか、直筆サイン入りヘルメット、ユニホームが当たる抽選も行う。

セダーハウスわき特設ステージでは、ガールズ競輪選手トークショーや、CS放送「スピードチャンネル」のスピーチーズなどのライブ、タレント伊藤克信さんと元競輪選手山口健治さんらの予想会などで盛り上げている。

二十九日の第一レースは午前十時四十五分発走。

一日目はすべて勝ち上がり戦となるため、各レース終了後、バンク内で勝利選手のインタビューを行い、弥彦競輪グッズが当たる抽選を行った。

選手がバンクに登場すると、ファンから選手の名前を呼ぶ声や、「頑張れ！」と歓声が飛んだ。

レースが終わるとファンの感謝の声と罵声が飛び交ったが、勝利選手インタビューでは車券を外したファンも拍手で祝福した。

諸橋選手は昨年の「ふるさとカップ」で決勝三着に入った地元期待の選手。この日は第十一レースの特選レースに出場して三着に入り、きょう三十日の最終レース、伊夜日子賞進出を決めた。

最終十二レースでは渡邉雄太選手（静岡）が一着となり、浅井選手は出遅れて四着。稲垣選手は第十レースで三着に入り、伊夜日子賞に進出した。

そのほかの地元選手では、鈴木選手は十二レースで九着、川村選手は第九レース・一次予選で四着に入り、ともにきょう三十日の二次予選に進出。藤原選手は第三レース・一次予選六着だった。

最近の記念競輪の売り上げは、七月上旬の小松島記念は約五十五億円だったが、七月二十二日から四日間の福井記念は約五十億円にとどまった。

「ふるさとカップ」の売り上げ目標は昨年度と同じく五十五億円。初日の売り上げは重勝式を除き十一億七千九百十二万三千六百円で、昨年より約一億五千万円少なかった。入場者数も一千五百三十五人と、昨年より約二百人の減となった。

心を込めて、精一杯
サービスさせて頂きます
割烹 清みず
三条市居島1-22-1　☎33-0164

婦人服 ミノワ
夏物クリアランスセール
三条市神明町☎三四―四〇五一
パルム2F